



Title	「基督教學」総目録
Citation	基督教学, 27, 55-62
Issue Date	1992-07-05
Doc URL	http://hdl.handle.net/2115/46513
Type	other
File Information	27_55-62.pdf



[Instructions for use](#)

『基督教學』 総目録 (一九六六〜一九九二)

● 第一号 (一九六六)

巻頭言……………中川秀恭(1)

公開講演

福音と言……………古田 暁(2)

研究発表要旨

「エキユメニズム教令」に就いて……………浅井正三(9)

初代教父における創造の問題……………加藤邦雄(14)

偽ディオニシウス・アレオパギタの

『神秘神学』……………大出 哲(20)

● 第二号 (一九六七)

論 文

聖トマス・アクイナスにおける善概念の一考察

……………近野 亘(1)

書 評

ラケル部族とレア部族……………宇野光雄(28)

研究発表要旨

ペシタを中心とした音訳語の問題……………加藤邦雄(42)

現代経済社会とキリスト教

―主として資本主義の歴史的分析を中心に―

……………石 沢 澈(48)

ルターの聖餐論における犠牲の問題……………岸本羊一(52)

論 文

解釈学成立序説

―後期ハイデッガーとE・フックスをめぐって―

……………雨貝行磨(1)

書 評

“50 JAHRE IN JAPAN”……………浅井正三(34)

研究発表要旨

「信仰」と「自律」

―カントの批判哲学を中心に―植木幹雄(46)

キエルケゴールの『後書』第一部研究……………渡部光男(50)

聖ヴィクトールのフーゴの聖書観……………山崎 忠(55)

復讐律の倫理性……………山崎保興(59)

ジャック・マリタンの芸術論における認識対象の問題

―スコラ学的芸術論についての一考察―

……………高岡 尚(64)

● 第四号 (一九六九)

論 文

救いの教説に関する一考察

— ルター神学とトマス神学の比較 —

吉村 新一郎 (1)

マルコの旧約理解……………土屋 博 (22)

研究発表要旨

「これか・あれか」に於ける美的段階の諸相

……………渡部 光男 (54)

ジャック・マリタンの「キリスト教的造形芸術」概念

……………高岡 尚 (58)

Christian Personality 論形成への一考察

……………中村 陽三 (62)

フォサイス・ルネサンスについて……………管 井 大 果 (66)

マタイ福音書の奇跡物語……………池 永 倫 明 (69)

「呪いの律法」の倫理性……………山 崎 保 興 (73)

新刊紹介……………(77)

●第五号 (一九七〇)

論 文

ヤハウェ宗教と王国 (一)……………宇 野 光 雄 (1)

研究発表要旨

近代ユニテリアニズムについて

— その呼称の発生と語義について — 大 山 綱 夫 (19)

クリスチャンパーソンナリティ論形成への実証的研究

……………中 村 陽 三 (23)

最近三十年間におけるキリスト教学の新展開

……………石 沢 澈 (26)

書 評

Edward Schillebeeckx,

Gotl-Die Zukunft des Menschen……………荒木 閑 巧 (30)

ジョン・F・ハウズ「日本人キリスト者と

アメリカ人宣教師」及び Erik H. Erikson,

Young Man Luther……………大 山 綱 夫 (40)

●第六号 (一九七一)

論 文

法思想にみられる基督教の影響……………高 坂 直 之 (1)

研究発表要旨

W・モンセレスキーの〈よきサマリヤ人〉

解釈史的研究について……………三 枝 礼 三 (19)

〈真珠の歌〉の平行記事……………滝 沢 武 人 (23)

理的直覚主義粗描……………植 木 幹 雄 (27)

書 評

Hans Küng,

Mensurung Gottes……………荒 木 閑 巧 (31)

Ernst Käsemann,

Der Ruf der Freiheit……………滝 沢 武 人 (41)

●第七号 (一九七二)

論 文

エレミヤ書第二章の様式・伝承史研究

研究発表要旨
..... 菅沼英二(1)

〈トマスの詩篇〉について..... 滝沢武人(29)

〈アガムの黙示録〉について..... 滝沢武人(23)
学生生徒の宗教性の成長に対する実証的研究
..... 中村陽三(25)

書評
Dietrich Wiederkehr,

書評
Friedrich-Wilhelm Marquardt,

Entwurf einer systematischen

“Exegese und Dogmatik in Karl Barths

Christologie 荒木閑 巧(33)

Theologie” 宇都宮輝夫(28)

●第八号(一九七三)

●第十号(一九七五)

論文

使徒信条——その史的考察..... 牧野玲子(1)

バルトにおける歴史理解とキリスト論
..... 宇都宮輝夫(1)

研究発表要旨

使徒教父における *kyberia* について..... 加藤邦雄(23)

研究発表要旨

『自然宗教に関する対話』の解釈について
..... 植木幹雄(30)

ジョン・ミルトンにおける宗教的寛容論について
..... 井上昌保(23)

書評

Klaus Riesenher,

ウェーバー理論とピューリタン植民地
..... 大山綱夫(25)

Existenzfernung und Religion 近野 亘(34)

ローマ書二文書説の再検討..... 木下順治(27)

●第九号(一九七四)

報告

札幌バンドの性格をめぐって
..... 菅沼英二(30)

国際旧約学会エディンバラ大会に出席して
..... 菅沼英二(30)

——札幌におけるアメリカ・プロテス

●第十一号(一九七六)

タンテイズムの展開..... 大山綱夫(1)

論文

大山綱夫(1)

論文

研究発表要旨

大正期に於ける北海道キリスト教史への若干の考察

研究発表要旨

..... 福島恒雄(1)

キリスト論—ラーナーにおける超越論的キリスト論—

..... 荒木 関 巧(23)

キェルケゴールに於ける「建徳」の概念

..... 渡 部 光 男(25)

研究ノート

エペソ書の構成と成立について..... 木 下 順 治(28)

●第十二号(一九七七)

論 文

カントにおける人格性の概念をめぐって

..... 岩 谷 日出夫(1)

研究発表要旨

『ローマ書』におけるバルトの解釈学..... 宇都宮 輝 夫(20)

青年期における宗教意識に関する実証的研究

..... 中 村 陽 三(22)

イスラエルにおける王権

—特に詩篇二篇と一〇一篇との関連—

..... R・W・マーティン(24)

●第十三号(一九七八)

中川秀恭先生古稀記念号

献呈のことば..... 浅 井 正 三(1)

学会の歩み..... 宇 野 光 雄(3)

論 文

ヴレーデからフックスへ..... 雨 貝 行 磨(6)

ヤスパースの哲学における

「交わり(Kommunikation)」の概念

..... 岩 谷 日出夫(17)

カール・バルトの宗教論.....

..... 宇都宮 輝 夫(29)

預言者と王国..... 宇 野 光 雄(40)

スコラの神の存在証明における闇..... 大 出 哲(50)

旧約聖書における荒野の救済伝承..... 菅 沼 英 二(58)

トマスの知性と意志の相互包含についての部分的考察

..... 高 岡 尚(68)

カール・バルトのフォイエールパツハ論

..... 滝 澤 武 人(76)

福音書文学と書簡体文学..... 土 屋 博(87)

ボナヴェントゥラにおける神学と哲学の関係について

..... 三 原 武 夫(96)

テイリツヒ宗教論における理性と信仰.....

..... 山 崎 忠(105)

エルサレムの発掘..... 山 崎 保 興(114)

キェルケゴールに於ける「建揚」の概念の発展

●第十四号(一九七九)

..... 渡 部 光 男(125)

論 文

ジョン・ミルトンにおける教会と国家

井上昌保(1)

研究発表要旨

十九世紀アメリカ・プロテスタントイイズムについて

—特にその宣教活動を巡って— 大山綱夫(21)

契約思想と旧約神学……………菅沼英二(25)

研究ノート

「ダビデの町」再考

—ミロとオペルのことなど— 山崎保興(29)

●第十五号(一九八〇)

論文

M・ウェーバー『プロテスタントイイズムの倫理と資本主義

の精神』の改訂とEntzauberungの概念

……………白井暢明(1)

研究発表要旨

古代イスラエルにおける個人と共同体

……………三枝札三(21)

「ダビデの町」の「ミロ」……………山崎保興(24)

G・エーベリンクの神学……………兩貝行麿(27)

書評

Heinrich Schlier, *Grundzüge einer paulinischen*

Theologie……………阿部包(30)

●第十六号(一九八一)

論文

キリストの律法を全うせよ?

—ガラテア6・2の解釈をめぐって—

……………阿部包(1)

研究発表要旨

カルケドン公会議のキリスト論……………荒木関巧(19)

バトラー倫理的特徴について

—「隣人愛について」の説教を中心に—

……………植木幹雄(21)

ラートの旧約神学の問題……………菅沼英二(24)

福音書における「これらの小さいもの」

……………三枝札三(28)

●第十七号(一九八二)

論文

ヘブル5・1-10における大祭司キリスト

……………荒木関巧(1)

研究発表要旨

マルシリオ・フィチーノにおける哲学と宗教

……………伊藤博明(22)

シルシとモノ —ニコラス・クザーヌスの

コンペンディウムにおける—……………野沢建彦(25)

北海道の廢娼運動と佐野文子の生涯……………福島恒雄(28)

ウェーバー『世界宗教の經濟倫理』のテーマについて

.....白井暢明(32)

北海道のキリスト教会と教会建築.....川島洋一(35)

●第十八号(一九八三)

論文

ルターにおける〈信〉の問題と中世哲学

.....清水哲郎(1)

研究発表要旨

宗教性の発生次元に関する一考察.....加藤嘉夫(20)

研究ノート

「信教の自由」への歩み.....高橋弘(25)

●第十九号(一九八四)

論文

教会観によって生まれる教会建築の形

.....川島洋一(1)

研究発表要旨

第一コリント十三章の研究.....和田博文(24)

高校生における宗教的意識について.....加地徹(28)

研究ノート

パウロとユダヤ的なるもの.....阿部包(31)

●第二十号(一九八五)

論文

再洗礼派の教会観

——スイス兄弟団を中心に——.....高橋弘(1)

研究発表要旨

ピコ・デッラ・ミランドラにおける

自由意志の問題.....伊藤博明(20)

研究ノート

北海道キリスト教史研究に関わって

——小谷部全一郎のことども——.....福島恒雄(23)

●第二十一号(一九八六)

論文

ヨハネ福音書における繫辭の機能とその思想

——第8章12節〜59節をめぐって——

.....佐々木啓(1)

研究発表要旨

ニコラウス・クザースの《non-aliud》における「非他」

(non-aliud)と「他」(aliud)について

——「非他」は他者と異なりつつも、他者にはかならない——

non-aliud neque est aliud.....野沢建彦(30)

nec ab alio aliud.....野沢建彦(30)

北海道のキリスト教会と教会建築

(その2) 道北地方のプロテスタント教会について

.....川島洋一(34)

●第二十二号(一九八七)

論文

Pico della Mirandola and the Ancient

Chaldaean Theology……………伊藤博明(1)^左

研究ノート

第三イザヤに於ける「沈黙」……………関根清三(1)

書評

Werner H. Kelber,

The Oral and the Written Gospel

……………佐々木 啓(8)

●第二十三号(一九八八)

論 文

主要邦訳『使徒信經(経)(条・條)』訳語・表記・表現上

の変遷 —【慶應4/明治元年〜明治28年資料の紹介】

を中心に—……………牧野玲子(1)

研究発表要旨

旧約聖書に於ける「天の万象」礼拝理解のために

……………菊地純子(26)

フェリクスの「宗教改革」はフガートが多すぎるか

……………加地 徹(32)

研究ノート

ホセア書における「神の民」の問題

—「神の子ら」をめぐって—……………菅 沼 英 二(36)

●第二十四号(一九八九)

論 文

幻の手紙

—ヨハネ黙示録のプロローグ・エピローグ—

……………朝井 かおる(1)

研究発表要旨

日本聖公会所属の二棟の教会建築について

—北海道のキリスト教会と教会建築(その3)—

……………川島 洋一(27)

預言者エレミヤと申命記……………菅 沼 英 二(33)

「ダビデの町の発掘調査(その後)……………山崎 保 興(37)

●第二十五号(一九九〇)

論 文

シモーヌ・ヴェイユにおける無化の神秘

—「脱創造」と神への回帰を巡って—

……………澤 田 愛 子(1)

研究発表要旨

北海道における日本ナザレン教団の教会建築について

—礼拝室と固定席の床面積的考察—

……………千 里 政 文(18)

日本カトリック教会旭川五条教会の聖堂とその変遷

北海道のキリスト教会と教会建築(その四)

……………川 島 洋 一(25)

キリスト教徒日曜日訴訟判決について

(東京地裁61・3・20)……………加 地 徹(35)

書 評

宇都宮輝夫『生と死の宗教社会学』…白井暢明(39)

●第二十六号(一九九一)

論文

書簡集の中のエロイーズ

—新しいエロイーズ像のための試論—

……………大道敏子(1)

研究発表要旨

北海道における日本ナザレン教団の教会建築について

(その二) —正面(立面)形態についての考察—

……………千里政文(30)

日本カトリック教会旭川大町教会の聖堂とその変遷

北海道のキリスト教会と教会建築(その五)

……………川島洋一(38)

書評

土屋博著『教会書簡 テモテへの第一の手紙、

テモテへの第二の手紙、テストへの手紙』(日本

基督教団出版局、一九九〇年) ……田中勇二(51)